

【情報提供】上海葵井商務諮詢有限公司

上海市華山路301号 静安商楼211室 TEL: 021-6248-8007

URL: <http://www.aoi-bc.com/> e-mail: shanghai@aoi-bc.com

【編集/提供】葵ビジネスコンサルティンググループ 東京本部 横田税務会計事務所

〒143-0022 東京都大田区東馬込1-12-12

TEL: 03-3775-1220 FAX: 03-3775-1156

URL: <http://www.kaikei.info> e-mail: info@ykss.com

【上海事情】

上海に交通ルールあるのかな？ 没有！

上海葵井は会計を中心としたビジネスコンサルタントですので、日本から税理士や公認会計士の方が多く訪れます。その時に「上海でも青信号で『GO』になり、赤信号は『STOP』なのに、ほとんどの人は交通ルールを守っていませんね。」といわれます。今月はその交通ルールについてお話しします。

上海で街中を歩いていると自転車、オートバイ、自動車から何度も危ない目にあわされたことがあります。上海の歩行者がなぜ交通ルールを守らないかと言うと、それは青信号で横断歩道を渡っていても、歩道を普通に歩いているだけでも危険だからです。

最近では交差点に交通指導の補助員が立っています。交通警察を支援して交通ルールを守らせるのが目的ですが、歩行者には大変うるさく交通ルールの厳守を言い渡しますが、その一方で自動車やバスやタクシーの違反に対しては、知らん顔で全く無視しています。故に、上海の歩行者は自分の命を守るために、青信号でも赤信号でも**個人の責任・判断**で安全と思ったならば「GO」になります。すなわち日本で言う「赤信号、皆で渡れば怖くない」ということですが、これは運転者には都合の良いルールです。クラクションを鳴らして、歩行者を追出したり、止まらせたりすれば、スピードを落とさずに運転できる訳です。

日本人の立場からは「だから中国は遅れている」とか「中国人はダメ！」とは、とても言えません。中国に滞在している日本人もここは中国だから、担当役所もうるさくないし、問題になったら「金やコネで解決できる」と考えて、法律・法規や交通ルールを守らない日本人が多数いるのも事実です。交通ルール違反はまだ個人の問題と判断されます。一方過失での違反は別として、会計や人事における違反は会社に罰金や罰則が与えられていますので、知らなかったとか、こんなに重いペナルティーは厳しい過ぎると文句を言っても遅く、社会的な信用を失ってしまいます。

中国の法律・税制は日本以上に厳しいので、経営者や投資家は相当な注意と信頼できる専門家のアドバイスを必須となります。

人事担当者や会計担当者が違反行為を個人的に行ったとしても、総経理が承認印を押していたならば、最終的な責任は「総経理」になります。

中国:上海人と日本人との風土や意識の違いについてお話しします。上海に来て他社の事務所を訪れたことのある日本人は経験しますが、訪問してまず挨拶を交わして、だいたいその次には「お茶:中国

茶」が出されます。この時のカップに関する考え方が「文化や意識」の大きな相違になります。

日系企業ですと、殆ど「陶器茶碗」で出されます。一方で中国系企業ですと「紙カップ」や「プラスチックのカップ」で出される法人が多数あります。

「紙カップやプラスチックのカップ」で出すと、日本人の訪問客は「何だこれは？」と思いますが、中国系企業のトップからすると逆に「陶器茶碗」で出すよりも訪問客を大切に、重要に考えているので、わざわざ新しい「紙カップ」で出しているとのことでした。このギャップを埋める方法はないのでしょうか？

鈴木 文人 記